

附属機関等の名称 会議概要

1 審議会名 第12回安曇野市協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画策定・評価委員会
2 日 時 平成26年3月5日 午前9時30分から午前11時00分まで
3 会 場 長野県安曇野庁舎4階 402会議室
4 出席者 栗田委員、市川委員、大石委員、内川委員、太田委員、小河委員、上野委員、布施委員、竹澤委員、遠藤委員、高井委員、青柳委員、宗像委員
5 市側出席者 宮澤まちづくり推進課長、南まちづくり推進担当係長、赤羽まちづくり推進担当主査、齋藤まちづくり推進担当主事
6 公開・非公開の別 公開
7 傍聴人 0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日 平成26年3月19日

協 議 事 項 等
1 会議の概要 〔1〕 開会 〔2〕 会長あいさつ 〔3〕 報告 (1)協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画について 〔4〕 審議 (1)協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画概要版(ダイジェスト版)(案)について (2)その他 ①協働のまちづくりフォーラムについて 〔5〕 閉会

※会議概要は、原則として公開します。会議終了後、2週間以内に所定の手続により公開してください。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。

## 2 会議事項概要

### [1] 開会

### [2] 会長あいさつ

### [3] 報告

#### (1) 協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画

【宮澤課長】協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画について説明

【意見】資料編における、協働事例については、事例ごと枠内の文字を拡大して、読みやすくしていただきたい。また、ページ内の余分なスペースを減らし、他の文字を拡大していただきたい。

【意見】67P、資料編、松本大学産学官民協働事業について、右下枠内「現地確認と里山の『いいところ』まとめ」としていただきたい。

### [4] 審議

#### (1) 協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画概要版(ダイジェスト版)(案)について

【宮澤課長】協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画概要版(ダイジェスト版)(案)について説明

【意見】掲載されている写真と文字が小さい。ページ内の余分なスペースを減らし、その分、拡大していただきたい。

【意見】「自助」の例として挙げられている、除雪、自主防災組織は公助ではないか。

【意見】個人として自分の地域で行う活動は自助と考える。

【意見】「自主防災組織に積極的に参加し」に変えると、自助になると考える。また、降雪時は、向こう三軒両隣という理念から、自助でもよい。地縁血縁を考えるべき。

【意見】自助、共助、公助、の線引きは明確な線引きは難しいので、大筋として考えるべき。

【意見】共助の具体例を挙げれば、より明確になる。

【意見】消防署によれば、自助は個人自分の身を守ることであり、たとえば、夜、寝床に靴下を置き災害にいつでも対応できるようにしておくことが自助、バケツリレーは共助である。隣近所を自助とするのか、分けをするべき。

【意見】内容に沿った形で表現を変える。自助については「自らが自己責任で課題を解決します。」とあるので、カテゴリごとに具体例を明示する。

【意見】表紙の背景は文字が見えにくい。総合計画やウィズプラン等も参考にいただきたい。

【意見】3p以降、内容が分断されている。自助、共助、公助、の例につなげた形で構成したらどうか。

【宮澤課長】うまくつながるよう工夫させていただきたい。

【意見】2ページ目の「協働を担う主体」という文字の位置を少し移動し、常念岳全体が見えるようにしていただきたい。

【意見】協働計画について、資料編で、各カテゴリが記載されていない部分もあるので、枠を加えカテゴリを記載する。

(2)その他

①協働のまちづくりフォーラムについて

【宮澤課長】協働のまちづくりフォーラムについて説明

②大雪について

【太田委員】高齢者が雪かきを行うのは体力的に難しかったと思う。市の対策として、各地区へ除雪機を増やすなどの手配等をし、また、元気な高齢者は積極的に除雪への参加を促した方が良かった。

除雪部隊を組織し、まずは、日の当たらない道路の除雪を優先させる。雪かきを通して、協働を実践したことを、もっと周囲に伝えればよかったと思っている。

【意見】非常事態宣言を出せばよかった。若い方が積極的に参加していた。終わった後は、一人暮らしの高齢者の雪かきを行った。業者もよくやっていた。除雪車を扱える方が増えればよかった。

【意見】雪が降ると信州の人は口を動かすが、東北の人体を動かすといわれている。風土性もあるが、雪の取り扱いの専門家が不足しているので、市も、除雪の必要性等を指導していく必要がある。

【意見】雪かきは協働のまちづくりの最たる事例である。防災の観点からも、大雪を事例に記載するべき。災害対策本部を設置したが、市民への報告、周知が足りない。

【意見】社協では各支所から地区社協の会長に連絡をした。民生委員と一緒に雪かきをしたり、しあわせあづみん、有償サービス等で雪かき対応ができた。

【意見】雪かきについて、コミュニケーションが生まれることもある。

【意見】今回の会議で計画の策定は終了するが、今後の本委員会の方向性はどうか。

【宮澤課長】本委員会は策定・評価委員会である。通常の委員会は計画の策定で終了するが、26年度は職員向け協働マニュアルの作成や、個別の実施事業報告への意見をいただくことや、年度末には計画に対する評価。視察等をしていただくことも考えている。

[5] 閉会